

《みぎてのきごう》
 p 「ぴー」おやゆび
 i 「あい」ひとさしゆび
 m 「えむ」なかゆび
 a 「えー」くすりゆび

《ひだりてのきごう》
 1 ひとさしゆび
 2 なかゆび
 3 くすりゆび
 4 こゆび

アルペジオ カルリのエチュード(3きょくとも「あるあいにれ」)

ゆび どりつ れんしゅう
指の独立の練習

独立、和音、親指の練習はすべて同じ押さえ方です。
 まずは独立の練習で左手の押さえ方を覚えてから次に進みましょう。

みぎてはすべてpimaのじゅんばんでひく。
 ひだりては、みぎてでひくじゅんばんで、げんをおさえる。

1のゆびはまげて、1げんにさわらないようにおさえる。

3のゆびを6げんまでもちあげる

p (びあの) よわくひく

sul tasto

(スル タスト) みぎてのひらをサウンドホールのうえにうつす
 やわらかいおとをだす

(くれっしえんど) おとをだんだんおおきくしていく
 きゅうきゅうしゃがちかづいてくるように

f (ふおるて) つよくひく

p

(で くれっしえんど) おとをだんだんちいさくしていく
 きゅうきゅうしゃがとおいにいくように

3のゆびを6げんまでもちあげる

mp (めぞびあの) すこしよわくひく

sul ponticello

(スル ポンティチェロ) みぎてをぶりっじがわへうつす
 かたいおとをだす

sul tasto

(スル タスト) みぎてをサウンドホールのうえに
 やわらかいおとをだす

(めぞ ふおるて)
 すこしつよくひく

rit.

(りたるだんど)
 だんだんゆっくりにする。
 じてんしゃやくるまのぶれーき

わおん
和音の練習

独立の練習で左手の押さえ方を覚えてから練習して下さい。

pとaで物を持つイメージで弾くと初めての方でもバランスの良い和音が出しやすいです。

9

mf *subito p*

sul normal

(すびと)
きゆうに

11

f

13

p sul tasto *mp*

(スル タスト) みぎてのひらをサウンドホールのうえにうつす
やわらかいおとをだす

sul normal

(スル ノルマル) みぎておやゆびだけがサウンドホールのうえにくるように
きほんのいち

15

subito f *rit.*

親指の練習

pでひいたあとかならず6げんにさわってから i, mとひきましょう。

17

P *p* *sul tasto* *p* *p*

19

f *p*

21

mp *sul ponticello*

23

f *sul tasto* *ff* *mf* *mp*

(ふおるてっしも) とてもつよくひく